



パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で繋がりをより深めあおう

パワー浜松ロータリークラブ (2015-16年度 会長: 知久 武 幹事: 鈴木 尚孝)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第614回例会 2月9日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間
●司会: 中野敬司 山崎益男 松井進 ●点鐘: 知久武
●ゲスト: 酒井章様 米山記念奨学生 于春蘇さん
●ビジター: 浜松東RC 稲垣邦夫様
●議事: 国際奉仕PJ「ヨーロッパの医療事情」

〈出席報告〉
会員数 79名
出席数 66名 出席率 78.48%
前々回出席率 83.54%

■会長挨拶 知久 武会長

浜松RC80周年記念パーティーへ参加してきました。戦時中は、RC名は使えなかったそうで、浜松RCの歴史を感じました。在籍40周年の方が4名表彰されました。また、メンバーの奥様サークルにも表彰がなされていました。祖父・浜松RC、父・浜松中RC、孫・パワー浜松RCですので、皆様と共にパワー浜松RCの歴史を積上げて行きたいと思えます。

■幹事報告 鈴木 考尚幹事

会長と一緒に浜松RC80周年記念パーティーへ行ってきました。パワー浜松RCは大変良いクラブだと感じました。金山土洲さんが静岡新聞夕刊『ハリキリ人生』110回個展開催で取り上げられていました。熊谷真一さんが2月3日で開院18周年を迎えました。本当におめでとうございます。(配布資料・寄付金領収書・静岡第6分区インターシティ・ミーティングのご案内)

■委員会報告

副幹事: 田淵 邦彦さん

理事会案内: 本例会終了後に理事会を開催します。

会員増強維持部会: 原田 美智子さん

新規会員を募集しています、友達リストを活用して会員増強の推進を宜しくお願い致します。

■米山奨学金授与: 于 春蘇さん



2週間ほど実家へ里帰りをして来ました。気温はマイナス14度でしたが、心はポカポカでした。お母さんの手料理を頂き、2キロ増となりましたので現在ダイエット中です。残り少ない学生生活を楽しまたいと思います。

■スマイル

知久会長・鈴木幹事

酒井先生、本日はお忙しい中私どもの卓話を頂き誠に有難うございました。貴重なお話を頂き誠に有難うございました。酒井先生の今後のご活躍とご健勝を心よりご祈念申し上げます。有難うございました。

滝浪 實さん・竜谷 義行さん

酒井先生、本日はお忙しい中私どもパワー浜松RCで卓話をして頂き、誠に有難うございました。

金山 土洲さん

2月3日の静岡新聞夕刊に『ハリキリ人生』110回の個展開催で取り上げて頂きました。大企業から講演依頼のお話を頂きました。私の様に新聞などに取り上げてもらった時には是非スマイルをしましょう。昨年末に福地さんは中日新聞一面に大きく取り上げられました。こんな時にはゴールドスマイルを宜しくお願い致します。

原田 道子さん

昨日、資産税研修会のあとに交流会がありました。その時の交流会でダーツ大会があり、準優勝になりました。40名程の強者の中で2位です。「右足を前にして右手で投げて下さい」と指導を受け、エイヤーと投げました。まぐれで3倍のところに入り点数が増えただけです。

熊谷 真一さん

2月3日に開院18周年を迎える事が出来ました。頂いた縁のお陰です。感謝申し上げます。体が元気ならも

う少し頑張ろうと思います。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

土屋 公良さん

昨日は結婚記念日でした…が、スッカリ忘れていました。今朝、家内からのラインで気づきました。絵文字で笑っていましたが、ヤバイです。どうしましょう？！

■議事

『ヨーロッパの医療事情』

担当：国際奉仕PJ：滝浪 實さん

卓話者：酒井 章様

(酒井先生プロフィール：昭和22年・浜松市生まれ、現在、公益財団・日露医学医療交流財団・常任理事)



・各国の医療保険制度と旅行者から見た問題点

分類Ⅰ：各国の保健医療制度（公的：民間）

- ① 公的医療保険が主体：日本、カナダ、ドイツ、フランス、北欧諸国
- ② 公的医療保険と民間医療保険が並立：英国、イタリア、オーストラリア、オランダ、ロシア
- ③ 民間医療保険が主体：米国、スイス

分類Ⅱ：保健医療制度（医療費の負担）

- ① 医療保険制度：日本、カナダ、ドイツ、米国、フランス、スイス、イタリア、オランダ、ロシア、オーストラリア（自己負担）
- ② 租税：英国（国営医療）、北欧諸国（公営医療）
 - ・公的医療保険のデメリット
 - （Free Access 権：国民が自分の判断で自由に医療機関を選択できる体制を言います。大学病院でも、診療所でも、医療保険の給付対象になり、料金がさほど変わらないというメリットがあります。）
 - ・Free Access 権が確保されていない事がメリットとなります。確保されている国：日本、フランス。一部確保されていない国：ドイツ。確保されていない国：英国、イタリア、オランダ、北欧諸国。よって、公的医療保険の国々は、必要な、あるいは高度

な医療サービスを受けるのに大変な時間がかかります。

- ・緊急医療体制に見る問題点としては、早急に緊急対応をしてもらえず、軽症者は緊急搬送してもらえない。
- ・MRIとCTの台数の比較：日本：140台、英国：13台、OECD平均34台であるので欧州地区の医療機器台数は大変少ないです、公的医療機関はこの様に迅速な医療を受ける事が出来ません。

・旅行者から見た各医療保険制度の問題点

- ① 民間保険（私立病院）が救急を扱う国：米国、フランス、オランダ、イタリア、ロシア等
 - ・緊急病院は患者が選べる、医療水準が高い
 - ・無保険者は地獄（外国はお金が全てが多い）
- ② 公的医療機関しか救急を扱わない国：英国、カナダ等
 - ・救命緊急でない場合は長時間待たされる
 - ・施設により医療水準が異なる
- ③ 海外旅行者保険の重要なポイント
 - ・既往症（今は直っているが、以前持っていた病気）の問題として、1ヶ月以内の旅行なら最大300万円まで治療費を保証する保険が必要
 - ・緊急移送の費用は治療費に含まれる
 - ・治療費は最大2000万円でも足りない事が起こる

《 本日の卓話の結論 》

- ① 海外旅行へ出かける時は保険にちゃんと加入し、無保険での旅行は大変リスクが高いです。
 - ② 英国、北欧諸国、特に途上国等に旅行する場合は、無制限保険に加入する事をお勧めします。
 - ③ 海外旅行に出かける前に、世界各国・地域の医療の情報収集を徹底する事が大変重要で有ります。
- ・日本外務省ホームページには世界92ヶ国の日本大使館・総領事館に勤務する96名の医務官が集めた現地医療情報が記載されています。旅行・長期滞在の前に当該国の医療情報を収集して下さい。本当に困った時には、速やかに大使館領事部に連絡すると、邦人保護担当の領事が対応してくれますのでご活用をお勧めします。

